



～夢の素材をつくる 花と絵と音楽と水のある学校～

国立二小だより

平成27年12月25日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

希望にあふれた一年のはじまりを

校長 小林 理人

週の始まりとなる月曜日の全校朝会では、最高学年の6年生が朝の挨拶をします。3人で、「季節の話」「先週の振り返り」「今週の目標」について役割を決めて全校児童に話をします。昨年度から始めた取組ですが、今では6年生が学校全体のことを考えた内容の話ができるようになってきました。

一例を紹介します。

児童① 最近、学校に来る際、手がかじかむなどの寒さが続いていますね。クリスマスプレゼントは決まりましたか。あまり豪華な物はくれませんよ。よい子でいましょう。

児童② 先週の生活目標は「すみずみまできれいにそうじをしましょう。」でした。皆さんはきれいにそうじをすることができましたか。私はきれいにそうじをすることができたと思います。

児童③ 今週の生活目標は「身の回りの整理整頓をしよう」と「計画的に物を持ち帰ろう」です。26日から冬休みですね。計画的に物を持ち帰らないと終業式にたくさん物を持ち帰らなければならないので大変です。

これは、高学年にリーダーとしての自覚をもたせるための取組のひとつです。

そして、12月からこの朝の挨拶に5年生が加わり、6年生2名、5年生1名の3人で行っています。就学時健康診断での活動や学芸会を通して高学年としての自覚が高まった5年生が6年生に教えてもらいながら週の始まりの挨拶をしています。少し先の進級・進学のことを考えた取組が始まっています。

今日は2学期の終業式がありました。みんなのこころをひとつにして取り組んだ学芸会や遠足などの学校行事、めあてや課題を意識して取り組んだ日々の学習を通して成長したことを「あゆみ」にまとめ、担任から一人一人に手渡しました。冬休みには「あゆみ」をもとに2学期を振り返り、3学期、そして、少し先の進級・進学のことを考え、新年の目標を子供たちと一緒に考えてみてください。

「一年の計は元旦にあり」これから迎えるお正月が、皆様にとって希望にあふれた一年の始まりとなることを願っております。

